

教育百年史によせて

桜の花が校庭の北側に幕を張ったように爛漫と咲いていた豊南小学校の思い出は、特に脳裡に焼きついて五十余年を経過した今も、昨日の様に思い出されます。尽きぬ思い出の古い木造の校舎も時の流れは其の教室のすべてを押し流し、新しい校舎が次の時代を背負ってくれる若い方々のよりよき思い出の場所となる事を心から祈ります。

「邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめんことを期する」と、明治5年に大政官布告があり、学制が發布されて以来、幾多の変遷経過の中に豊南小学校は幾千の人材を世に出した其の歴史の意義は計り知れない。教育こそ国家隆盛の基であると思つづく思います。

皆さまに押されて市議会に出て以来、台風の通過地点である此の教育の場所を一日も早く永久建築物にして、いかなる天災地変にも安んじて子供を預けて置ける場所にしなければと思いつづけて10余

年、今やつと其の悲願かなえて今日を迎えた。あたかも明治百年記念事業を皆様の熱意によっておこなう事は誠に感慨無量の想であります。

この豊南小学校の校門をくぐり教室に入り、学び、遊び、話をし、喜んだり、泣いたりした経験は其の人の人生史の中に其の楽しさをまた貴さを加え、開校百年の記念の今日深い回想にふれられる事と思います。今後百年の出発点として冷静に深慮して、21世紀に活躍する子どもの教育にあたられることを祈念するとともに、永い歴史の間に豊南小学校に捧げられた先生方に深い感謝を申し上げ、今後の本校の幸せ、発展のために栄光あれと祈念する次第です。

(豊橋市市会議員 水野安吉)